

事務 Tea Time

ごあいさつ

予期せぬ「新型コロナウイルス感染症」の対応に追われて終わった令和元年度。令和2年度も4か月が経ち、ようやく平穏になりつつある頃でしょうか。

令和2年度第1号の会報「事務Tea Time」に会長・副会長よりごあいさつをいただきました。



会長 新宮 利浩 寒河江市立陵東中学校

今年度も引き続き会長をさせていただくことになりました寒河江市立陵東中学校の新宮利浩と申します。最後の1年となりました。やり残したことがないように精一杯務めてまいりたいと思います。

今年は、これまでに経験のない新型コロナウイルス感染症の対応で現在もなお、心身共に疲労の毎日をお過ごしのことと思います。先の見えない中で私たちは子どもたちのために何ができるのか、不安を抱えながら仕事を進めてきたのではないのでしょうか。しかも私たちは、日々揺れ動く状況の中でも、着実に事務を進めることが求められます。今こそこれまで築き上げた各自の力を十分に発揮していただきたいと思います。

さて、今年度の活動の柱として9年ぶりに改定された研究ビジョン「やまがた花笠プラン」の学びと実践があります。県内すべての小中学校の校長先生と学校事務職員の皆様にお届けします。これからの協議会研究活動の拠り所となります。ぜひ手元に置いて生かしていただきたいと思います。感染症対策として、残念ながらその他の協議会活動の柱となる新旧役員会、理事会・総会、夏季研修会、そして全事研岐阜大会、東北事務研秋田大会の中止または紙上による開催が決まりました。しかし、研修の機会が減ったことをそのままマイナスとせず、自己研修に努めて自分の力量を高める良い機会と捉えたいと思います。学びの手助けとなるように、理事の皆様をお願いをして、各地区の財産である地区の研修会等で活用された資料や地区でまとめた資料を提供していただき、過去の夏季研修会や秋季セミナーの資料をあわせて、協議会のホームページに掲載し、会員の皆様へ積極的に発信していきたいと思います。



今年度は、現状に向き合いつつ静かに学び、自己実現のための力量形成に努めていきましょう。そしてこの状態が収束した後、可能であれば事務セミナーを開催したいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

“今年らしく”マスク姿でパチリ



副会長 井上 元 山形市立第一中学校



「現状維持は退歩である」これは、私の座右の銘です。現状維持では何も変わらず進歩しない。進歩しようとしなければ、実は維持すらできずに退歩してしまうのです。

「何のために何をするのか」これは、協議会活動を進めていく上で私が大事にしている基本姿勢ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため様々な制限があり、例年どおりに協議会活動を進めることができません。ですから、「何をどのようにするのか」が新たに必要な基本姿勢となります。そして今年度は、新しい生活様式ならぬ、協議会の新しい活動様式を模索していく必要があります。その指標となるのが、会長が会員の皆様にお示した、今年度の活動方針（研究のすすめ方）です。協議会活動を進歩させるべく、私も再度、協議会は何のために何をやるのかを確認し、自分に何ができるのかを考え、できることを「無理せず、おもしろく、着実に」進めていきたいと思っています。

副会長 成澤 早苗 鶴岡市立藤島小学校



去年は遠く感じた山形市でしたが、今年は6月の事務局会が待ち遠しく感じられました。コロナ騒ぎで、当たり前だと思っていたことができなくなって、これまでの常識を変えていくことも必要だとわかりました。

今後協議会でも、新たな会議形式や新たな研究大会の在り方を模索していかなければなりません。そうすれば遠い地区からの往復の移動時間はもっと有効に活用できるのではないのでしょうか。

やまがた花笠プラン改定版のように時代にあわせて見直しをはかり、さらに事務職員が学校の中での存在感を高めていけるように、凝り固まった頭を柔らかくしながら活動していくことを心がけたいと思います。

副会長 山路 弥 川西町立小松小学校



一昨年度より副会長を仰せつかり、3年目となりました。今年度も皆様のお力添えをいただき、務めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症対応で、昨年度末から初めて体験することに振り回されっぱなしです。アドリブは利くほうだと思っていましたが、どうやら自分が思っているほどではなかったようです。『学校事務に王道なし』誰の言葉でもありません(^_^) 結局のところ、地道に丁寧に仕事を進めることが、一番の近道だったようです。また学校で消毒作業が必要となり、消毒液やその他消耗品の手配に苦心しました。そのお陰で、今話題の次亜塩素酸水に関する勉強をする機会ができ、知識をため込むことができました。モノは考えようですね。

各専門部より

～3つの専門部の
活動計画です～

企画研修部

部長 矢野由紀 山形市立みはらしの丘小学校

1 活動目標

山形県の事務職員一人一人が「主体的に考え、発信力・提案力を養う」研修を企画する

- ・主体的とは、これからを見据え、自ら考え行動すること
- ・発信力とは、学校事務の未来を拓くために必要なことを考え伝える力
- ・提案力とは、現状を理解しより良い学校経営のための改善策を考え伝える力

2 活動方針

- ①やまがた花笠プランに基づいた研修の企画・運営を行う。
- ②主体的に考え意見交換を重ねることで、より良いものを練り上げ創り出していく。
- ③企画研修部員として、研修のあり方についてより深く考え、提案する力を身につけていく。

3 活動内容

- ①第3期中期研修計画を完成させる。
- ②新型コロナウイルス感染症収束後に事務セミナーを開催する。
- ③研修についての理解を深め、次年度以降の研修内容について検討する。



4 今年度の活動内容と日程 (新型コロナウイルス感染症の発生状況により変更あり。)

活動月日	活動項目	活 動 内 容
7月下旬	第1回 企画研修部会	・今年度の活動について ・第3期中期研修計画について
8月下旬	第2回 企画研修部会	・第3期中期研修計画について ・事務セミナーについて
10月中旬	第3回 企画研修部会	・事務セミナーについて ・次年度以降の研修について
12月4日	第4回 企画研修部会	・事務セミナーについて ・次年度以降の研修について
2月中旬	第5回 企画研修部会	・令和2年度活動総括 ・令和3年度活動内容検討 ・令和3年度夏季研修会・秋季セミナーについて



◎新型コロナウイルス感染症収束後に、事務セミナーを開催する。

研究部

部長 鈴木善文 鶴岡市立湯野浜小学校

1 活動について

- ①10月15日～16日の東北事務研究大会秋田大会に向け、研究発表体制を確立する。
→大会自体は中止だが、紙面発表という形で研究レポートを完成させる。
また、完成した研究レポートは会員に報告する。
- ②令和3年度 全事研埼玉大会の分科会運営・研究発表に向けた準備を進める。
- ③各地区の共同実施の状況を情報収集し、検証していく。
- ④研究部だよりを発行し、各地区及び会員の実践を紹介する。

2 研究体制

- ①研究発表プロジェクト：東北事務研秋田大会のレポートを作成する（紙面発表）。
全事研埼玉大会の研究発表に向けた準備を進める。
- ②研究推進プロジェクト：全事研埼玉大会の分科会運営に向けた準備を進める。
- ③「研究部だより」作成チーム：各地区の実践を収集し、紹介する。

実施月	活動項目	研修内容
7月	第1回 研究部会	<ul style="list-style-type: none">• これまでの研究経過と、これからの研究計画について• 今年度の研究体制について• 秋田大会研究レポートの検討• 全事研埼玉大会 「地域協働」に関する意識調査について検討
9月	第2回 研究部会	<ul style="list-style-type: none">• 秋田大会研究レポートの検討• 全事研埼玉大会 意識調査の集約・分析、分科会運営の検討• 「研究部だより」作成メンバーの選出
10月	第3回 研究部会	<ul style="list-style-type: none">• コミュニティスクールについての研修• 全事研埼玉大会 研究発表内容の検討• 全事研埼玉大会 分科会運営の検討• 研究部だよりについて
12月	第4回 研究部会	<ul style="list-style-type: none">• 役員会・理事会報告• 全事研埼玉大会 研究発表の検討• 全事研埼玉大会 分科会運営の検討• 研究部だより発行
2月	第5回 研究部会	<ul style="list-style-type: none">• 東北事務研究担当者会報告• 今年度のまとめ• 全事研埼玉大会 研究発表の検討• 全事研埼玉大会 分科会運営の検討• 共同実施の状況について



※ 共同実施の情報収集は随時行う

○東北地区研究担当者会

令和3年2月5日 フォレスト仙台（研究部長・伊藤副部長 参加予定）

情報部

部長 柴田由香 村山市立大久保小学校

1 活動目標

『全会員に必要とされる山形県学校事務 WEB サイトを運営する』

2 活動方針

- ①安定した運営と事務局・各専門部・地区との連携を念頭に置いた活動を行う。
- ②よりアクセスしてもらえらるサイトの運営・更新を行う。
- ③情報の発信・収集を行う。



3 具体的な活動内容

- ①コンテンツの深化と精選に努める。
 - ・更新の効率化を求めながら、よりアクセスしていただくための工夫を考えていく。
 - ・学校事務ライブラリ・更新・整備、及び各地区研究物の収集をする。
 - ・掲載内容を検討し、状況によりメニューの精選、利活用を図ることを随時念頭に置く。
- ②メールマガジンを積極的に利用し、情報発信を行っていく。
 - ・メールマガジンは直接会員の手元に届くため、迅速且つ確実な情報伝達手段の一つである。事務局や専門部、各地区と連携し、多くの情報を発信していく。依頼により臨時便にも対応する。
- ③地区との連携強化を図る。
 - ・ブロック選出情報部員の活動重点として、それぞれの地区の情報収集及び WEB サイトでの広報を通じ、地区に密着した活動を行う。
 - ・WEB サイトについて不明な点があった場合等、適切なフォローを行う。
 - ・理事の方にも例年同様、原稿依頼や連絡事項の周知徹底について協力を依頼する。
- ④学校事務ライブラリの様式更新を重点的に行う。
- ⑤HPリニューアルに向けて検討していく。
- ⑥「旅費基準地一覧」の更新を企画研修部と協力して行う。



4 今年度の活動と日程（新型コロナウイルス感染症の発生状況により中止や変更あり）

実施月	活動項目	活動内容
	第1回情報部会	中止
7月	第2回情報部会	・今年度の組織と活動について ・グループ別会議
10月	第3回情報部会	・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議
1月	第4回情報部会	・これまでの活動と今後の活動について ・次年度の活動について ・グループ別会議

令和2年度 研究のすすめ方

1 研究テーマ<継続>

未来を拓こう！子どもの育ちを支援する学校事務
～ 連携・協働でつくる次世代の学校 ～



2 活動の柱

(1) 改定版研究ビジョン「**やまがた花笠プラン**」の周知啓発につとめ、実践及び研究に取り組みます。

- ① 時代に即したのものとして研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を9年ぶりに改定しました。今年は、県内の全小中学校長、全会員にお届けします。実践・研究の拠り所として全会員で理解しあい、日常の積み重ねを大切にして、これからの協議会活動に生かしていきます。

(2) 状況を見ながら「**学校事務の連携・共同実施**」の取り組みについて、各モデル校の実践をまとめ検証します。合わせて「**共同学校事務室**」の制度化に向けて継続して取り組みます。

- ① 会議を持つことが難しい状況ではありますが、「令和2年度モデル校における学校事務の連携・共同実施」について、各地区からモデル校に参加し、実践に取り組みます。そして各地区の実践をまとめ、より良い制度となるように検証していきます。併せて各地区で実施している「共同実施」の充実をはかり、協議会が提案した「**共同学校事務室実施要綱（案）**」「**共同学校事務室業務要綱（案）**」の実現に向け継続的に働きかけていきます。
- ② つかさどる職としての事務職員を全市町村教育委員会の管理規則へ確実に位置づけられるように働きかけていきます。

(3) 夏季研修会の開催を見送り、今年度は、自己研鑽の機会ととらえ、研修資料の情報発信を行い資質の向上を図ります。

- ① 現状により本年度開催予定の夏季研修会の開催を見送ります。また、日程が重なったため、秋季セミナーの開催を見送った隣県開催となる東北事務研究大会秋田大会も開催を見送ることとなりました。このような状況を私たちは自己研鑽の機会と捉え、これまでの夏季研修会・秋季セミナーの研修資料や各支部の研修会資料の提供をいただき、協議会ホームページを活用して積極的に発信して、会員の資質向上に役立てます。

(4) **若手事務職員の育成**に努めます。

- ① 新規採用者・欠員補充者の増加に伴う、支援体制の確立を図ります。
- ② 先輩から後輩への継承を推進します。
- ③ 各地区の支援体制のまとめをもとに県教育委員会による支援体制の平準化を図るよう働きかけていきます。

(5) 専門部活動

各専門部は、協議会活動方針のもと、他の専門部や事務局との連携を図り主体的に活動します。

- ① 企画研修部は、策定に取り組んでいる「第3期中期研修計画」について12月理事会までの完成を目指します。また、開催が予定される事務セミナーの企画運営を行います。
- ② 研究部は、開催を見送ることになった第23回東北地区公立小中学校事務研究大会秋田大会発表レポートの現時点でのまとめを行います。その後、来年に迫った第53回全国公立小中学校事務研究大会埼玉大会の分科会担当県として分科会の企画運営に取り組みます。また、「令和2年度モデル校における学校事務の連携・共同実施」について各地区の参加状況と実践を、令和元年度分と合わせて検証していきます。
- ③ 情報部は、学校事務WEBページの維持・更新を行います。事務局はもとより、それぞれの部と連携し情報の収集と提供に努めます。また、新たに2名の協力員を得て、課題となっているライブラリの更新に取り組みます。

(6) 全国公立小中学校事務職員研究会・東北地区公立小中学校事務職員研究協議会を通して、全国及び東北との交流を深めていきます。

- ① 全国・東北の研究団体と連携し様々な情報交換をおこない、最新の情報や研修会等の案内を発信し、学ぶ機会を提供していきます。

(7) 各教育関係機関・関係団体との定例懇談会を開催し、相互理解を図るとともに協議会活動の推進に役立てます。

- ① 事務職員を希望する優秀な人材を幅広く求めるために、大卒者を受け入れるよう採用制度の改正と昇任基準の明確化について働きかけていきます。
- ② 県教育機関に事務職員の職務や研修を専門に担当する職の設置について、働きかけていきます。
- ③ 法改正や人事評価制度の導入に伴い、事務職員の評価基準について、教育関係機関・団体の理解と協力を求めています。
- ④ 事務職員対象の教育センター研修講座の開設に向けて理解と協力を求めています。

(8) 今後の協議会運営を見据え、協議会の活動内容の見直しや適正な予算について検討していきます。

- ① 事務職員きょうれい会から毎年いただいている50万円の研究助成金が令和3年度までで終了との連絡がありました。これまで研究助成金をいただき、会員の減少にも関わらず協議会の会費を値上げをすることなく活動することができました。令和4年度からの協議会運営を見据え、活動内容や予算を検討していきます。



山形県公立小中学校事務職員研究協議会 役員

役職名	氏名	所属校	備考
会長	新宮 利浩	寒河江市立陵東中学校	
副会長	井上 元	山形市立第一中学校	
	成澤 早苗	鶴岡市立藤島小学校	
	山路 弥	川西町立小松小学校	
企画研修部長	矢野 由紀	山形市立みはらしの丘小学校	
研究部長	鈴木 善文	鶴岡市立湯野浜小学校	
情報部長	柴田 由香	村山市立大久保小学校	
監事	嶋倉 みどり	山形市立第一小学校	
	堀川 美香	山形市立第十中学校	
事務局長	真下 久美子	山形市立蔵王第一中学校	
事務局次長	阿部 康弘	庄内町立余目第三小学校	
事務局員	太田 洋子	山形市立金井小学校	
	川崎 聡	舟形町立舟形小学校	
	荒木 有美子	山形市立第十小学校	
	高橋 伸	酒田市立松原小学校	
	鎌田 佳奈	山形市立明治小学校	
	佐藤 佳楠子	天童市立蔵増小学校	

県協議会理事 / 県学校事務部会地区委員

地区名	小学校			中学校		
	氏名	所属校	備考	氏名	所属校	備考
山形	遠藤 眞子	東小	代表理事	尾関 裕美子	山形五中	
上山	千原 美紀子	宮川小		我妻 篤	上山北中	
東村山	鈴木 千奈	山辺小		山崎 和子	天童一中	
西村山	菅蒲 良子	西根小		熊坂 綾子	陵南中	
北村山	菅野 勝美	大石田小		岡田 順子	神町中	
最上	伊藤 久美子	金山小	代表理事	浅沼 拓	日新中	
米沢	市川 枝里	興讓小		遠藤 洋	米沢三中	
東置賜	高梨 善克	中郡小		鷲尾 由己	宮内中	
西置賜	安部 容子	飯豊一小	代表理事	丸川 優子	小国中	
田川	本間 操子	黄金小		工藤 勝喜	羽黒中	
酒田 遊佐	伊藤 芳子	浜中小	代表理事	高橋 真由美	鳥海八幡中	
	石垣 智子	遊佐小				

企 画 研 修 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
山 形	矢野 由紀	みはらしの丘小	部長				
西置賜	安部 容子	飯豊一小	研究協力者				
山 形	結城 明子	南沼原小	研究協力者				
村 山	山 形	大江 雅子	山形三小	置 賜	米 沢	菅野 成美	米沢五中
	上 山	千原 美紀子	宮川小		東置賜	色摩 英美子	宮内小
	東村山	安孫子 里佐	長岡小		西置賜	相馬 春香	白鷹東根小
	西村山	岩淵 満里子	本郷東小	庄 内	田 川	渡部 育子	朝暘三小
最 北	北村山	岡崎 いずみ	村山戸沢小	酒 田	遊 田	三浦 勝	若浜小
	最 上	長南 敦瑚	真室川北部小				

研 究 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
田 川	鈴木 善文	湯野浜小	部長				
酒田遊佐	仲川 美幸	藤崎小	研究協力者				
米 沢	鈴木 保子	米沢東部小	研究協力者				
村 山	山 形	鈴木 綾	山形四小	置 賜	米 沢	富樫 雄也	米沢六中
	上 山	我妻 篤	上山北中		東置賜	伊藤 智美	赤湯小
	東村山	阿部 優紀	山口小		西置賜	仁科 佳代子	小国小
	西村山	服部 浩子	大江中	庄 内	田 川	菅原 隆	藤島中
最 北	北村山	土屋 恵美	大富小	酒 田	遊 田	長谷川 稔	亀ヶ崎小
	最 上	八鍬 悦子	大堀小				

情 報 部

地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
北村山	柴田 由香	大久保小	部長				
東置賜(会長委嘱)	嶋貴 知子	沖郷小	Web Master				
北村山(会長委嘱)	田苗 欣也	東郷小	東村山(会長委嘱)	笹 廣祐	干布小		
北村山(会長委嘱)	加藤 亜希子	富本小	置 賜	米 沢	貝野瀬ゆりあ	松川小	
村 山	山 形	青柳 涼子		山形七中	西置賜	赤木 翔太	鮎貝小
	西村山	堀江 実桜	高松小	庄 内	田 川	石山 栄彦	櫛引中
最 北	最 上	菅 祐子	沼田小	酒 田	遊 田	相馬 節子	宮野浦小
	最 上	姉崎 雄太	鮭川中				

ねっとわ〜く from 東根市



ぜひ！ひがしねさ！きてけらっしゃい！！！！

東根市HP <https://www.city.higashine.yamagata.jp/5.html> ←↑クリックしてご覧ください。

●面積：206.94 k㎡

●人口：47,630 人

(人口はR2.3.31 現在)

先ごろ、住みよさ県内No.1 になりました



まなびあテラス
冬のイルミネーションが
大好評です。
ぜひ一度お越しください。



黒伏高原スノーパーク
ジャングル・ジャングル
スキー・スノーボードが盛んです



国指定特別天然記念物
「東根の大ケヤキ」
東根小学校の校庭にそびえる、樹齢 1500 年以上、市のシンボリック的存在です。



さくらんぼ東根温泉
泉質は「あったまりの湯」
体の芯まで癒されます。



東根市

ひがしねあそびあランド
大人気の大規模遊具や噴水広
場があり、子どもたちの
「やってみたい！」をサポートするプレイリーダーも
待っています。



<子育て>

○医療費助成制度

・高校生世代までの医療費を全額助成します。

○妊娠から子育てまで、切れ目のない支援

- ・足を運ばなくても「mam@ (ママっと) メール」相談できます。
- ・妊娠届出前にかかった医療費の一部助成

○全ての小学校区に学童保育

(放課後児童クラブ)があります。

○定住促進事業助成

- ・子育て加算・地区加算・他給食費の助成金あり
- ・条件により対象児童のみ

<教育>

- ・平成28年4月、**県内初の県立中高一貫校「東桜学館」**が開校。
- ・**学力向上支援員**(教員OB)を各小中学校に配置。また、外国語教育の充実のために**ALT**を各小中学校へ7名配置。基礎学力向上を図るとともに、語学力と国際感覚を養います。
- ・県内他市町村に先駆けて、**すべての小中学生の1人1台の学習用PCとすべての小中学校の高速ネット環境**を整備し、未来を生き抜く力を養います。
- ・高崎小学校に「**小規模特認校制度**」を適用し、英語活動や地域と連携したアフタースクールなど、特色ある教育を実施しています。東根・神町・東根中部・大森小学校区の希望者は、学区を超えて高崎小学校に通学することができます。

もうすぐ神町小学校改築

昭和48年建築され、地域の皆さんに愛され、多くの児童を見守ってきた校舎が、老朽化により移転、新築され令和2年12月に新校舎に生まれ変わります。

お楽しみに！